

# 令和7年度生徒会三役、総務局員、専門委員長

令和7年度生徒会三役、総務局員、専門委員長が、次のようになりました。1月15日(水)に、引継式をしました。令和6年度役員から令和7年度役員に、生徒会のファイルが引き継がれました。

生徒会会長	※氏名は紙面に掲載しました。
生徒会副会長	
総務局員	
応援団長	
図書委員長	
放送委員長	
環境美化委員長	
福祉委員長	
保健委員長	



# Chromebookの使用と持ち帰りについて

本校では、学習用端末 Chromebook について、次のように生徒に指導しております。

- 御家庭での毎日の充電に御協力をお願いします。  
学習用端末は、健康観察や授業での使用とともに、課題等のやり取りや欠席したときの連絡手段として活用します。教科書やノートと同様に学習に、必要な道具となっております。そのため、一定時間以上の充電が必要です。**午後10時以降は使用をやめて、翌朝まで充電する**よう、御家庭で御指導をお願いします。
- 学校と家庭で共通することは、次のとおりです。
  - 学習活動のために使う**ことが目的です。個人で使うインターネットサイトやゲームアプリに登録するアカウントや SNS や掲示板のツールとして使ってはいけません。
  - 学校で決められたアカウントとパスワードでのログインは、学校の Chromebook のみで使用します。配付されたアカウントを使って、自宅のパソコンなどでログインしません。
  - 学習に関係のないウェブサイトにはアクセスしません。どんなウェブサイトを見たのか記録が残ります。シークレットモードは使えません。アクセス履歴は、自分の Chromebook 上で消しても、管理者が分かる設定になっています。
  - 自主的な**学習に使う場合の1日の最大使用時間は、2時間以内**とします。30分に一度は目を休めます。オンライン授業の場合は、1時間の授業が終わったら、目を休めます。

## これからの主な学校行事 ※予定は変更されることがあります。

月	日	曜	学校行事等	月	日	曜	学校行事等
2	3	月	第4回定期テスト(～2/4)	2	25	火	心のアンケート
	4	火	チャンス相談(～2/7)				チャンス相談(～2/28)
	5	水	1, 2年生専門委員会				専門委員会
	12	水	卒業式全校練習①				古紙搬出作業
	13	木	3年生卒業式練習(～2/28)	26	水	3年生同窓会入会式	
	18	火	素点表、通知表ファイル配付(～2/28)			地域表彰	
	19	水	2年生修学旅行(～2/21)			3年生を送る会	

見附市立南中学校学校だより 2月号

# 南中だより

令和7年2月3日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987 FAX 0256-62-0483

Mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Homepage <https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/minami/>

【目指す子ども像】 ふるさとを愛し、見附の人、自然、ものとかかわり、自分を高める生徒  
「助け合い、話し合い、学び合い、3つの「合い」(=愛)を私(=I)から」  
【生徒会スローガン】 結～信頼を結び笑顔を咲かせよう～

# 大人になるための努力を⑨ 学習における生成AIの活用

南中学校長 有本 千晴

3学期の始業式で、学習における生成AIの活用について、英作文と英文の音読で生成AIを使う事例を紹介しながら話しました。英作文は、中学生女子の自己紹介を課題として、生成AIに「英語検定3級程度のレベルで、指定された文法を使った10文程度の作文」をさせました。2～3秒で、英作文が出来上がりました。英語が苦手な子どもには、頼もしい学習支援ツールだと思います。しかし、私とその英作文を採点する立場なら、半分程度の正解と判断しました。単語の綴りや文法、語順などは正しいのですが、内容が適切ではない英文が半分程度あったからです。生成AIも無料版と有料版があり、機能や生成物が異なりますが、生成AIが作る英作文が課題に十分に答えるものであるかを判断するためには、授業で教わる知識や技能などが身に付いていることが必要だと思いました。

生成AIは、課題に対する解決の手がかりやたたき台を提供してくれるものであると認識して使うものだと考えます。しかし、与えられた答えをそのまま使うことは、著作権や個人情報保護に反する可能性があることも十分に踏まえなければなりません。生徒に使用させるときは、年齢制限があり、保護者の承諾が必要であることや、著作権制度、個人情報保護法等の関係法令等を正しく理解して遵守するよう指導する必要があります。

英文の音読では、教師の足場の支援として有効に活用できると考えます。英文をスラスラと音読するために必要な時間は、生徒によって違います。これまでは、教師が一人ひとりの生徒に対して十分な時間を割くことはほぼ無理でした。しかし、生成AIを活用することで、学習進度や理解度に応じた個別の指導が可能になります。音読ソフトウェアを使うと、英文を読む速度や音量の設定に加え、聞きやすい声を選ぶこともできるので、音読の練習にとっても効果的です。生成AIは、個別指導の強化に大きな役割を果たすことができます。

生成AIは、生徒にリアルタイムのフィードバックを提供することができます。自動採点システムを活用すれば、生徒も教師も即座にテストの点数が分かり、間違いを確認して改善点を把握することができます。しかし、自動採点のテストはキーボードで解答を入力するので、書くことの練習ができません。書くことは時間がかかりますが、生活に必要ですので、指導する必要があると考えております。

文部科学省は、12月に「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」の改訂について(通知)を出しました。生成AIは、個別指導、リアルタイムのフィードバック、学習データの活用、創造性の育成など、様々な面で教育の質を向上させることができます。一方で、著作権や個人情報の保護、出力過程の透明性や信頼性の懸念などのリスクを考慮して、学習指導要領が定める資質・能力の育成や教育活動の目的への寄与や効果を吟味して、学力向上への利活用に取り組みたいです。

【参考】「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」の改訂について(通知) (6文科初第1895号令和6年12月26日文部科学省初等中等教育局)

# 第3回学校運営協議会



1月20日(月)に学校運営協議会を実施しました。協議の概要をお知らせします。いただいた御意見や御提案を、今後の教育活動の改善に活かして参ります。 ※「→」は、学校の回答です。

## 1 2学期の学校評価について

(1) 【知】 「教え合い、学び合いながら、より確かな学びを追求する生徒」

- ① 学力向上の評価が大切である。前期にCが付いた評価を改善すると協議したはずだが、先生方の声かけ(=指導)はされているのか。家庭学習の時間が伸びているのに、評価がCになったのはなぜか。危機感をもつべきではないか。
- ② 学年により、家庭学習の目標時間の達成率に差があるのはなぜか。毎年度、同じ傾向なのか。  
→ 必ずしもそうとは言えない。生徒個々の家庭学習の習慣の定着も影響があると思う。
- ③ 学級担任は、課題の提出を指導して頑張ってくれているようであるが、提出できない生徒も多いと聞く。保護者の支援も必要ではないか。授業中に基礎学力テストの指導をされると言われたが、学習内容も増えて、授業の時間が足りないのではないかと思う。例えば、放課後に図書室を開放して、勉強したい生徒が残るなどの環境を提供するのはどうか。水曜日の放課後は、やりたい生徒が図書室で宿題をしてから下校してもよいことにする。家に帰ると、インターネットやゲームなどいろいろなことをしたくなるので、学校で友だちと誘い合って勉強すると頑張ることができる生徒もいると思う。
- ④ 家庭環境は、個々に異なるので、学校で学習する場所を提供するとよい。放課後の図書室の開放は、よいと思う。放課後は家ではなく図書館や近くの学習スペースに行き勉強して帰宅する高校生もいる。勉強できる場所で、メリハリを付けて取り組ませてもらいたい。
- ⑤ (受験勉強は)塾でということも多い。自宅での学習も大切だが、教師の指導力の差も大きいと思う。授業が(知的に)おもしろければ、自ずと耳に入ってくる。

(2) 【地域連携】 「主体的に地域に貢献する活動を通してふるさとを愛する心をもつ生徒」

- ① 「自分は学校や地域のボランティア活動に主体的に参加している」の肯定的評価が下がった。「主体的に」という意識が低くなったという理解でよいか。  
→ そういう生徒もいると思うが、どのように申し込めばよいか分からなかったという回答もあった。自分一人で申し込むことも、勇気があることだったかもしれない。「以前にやったことがある」とか「友だちが参加するから」などのきっかけがあると、参加しやすかったと思う。今年度の経験が、来年度以降に活かされることを期待したい。
- ② 「手挙げ式1人1ボランティア活動」申込は、二次元コードの活用がよいと思う。二次元コードは、主催者側で作らなければならないか。  
→ 学校にお知らせくだされば、作ることができる。
- ③ お祭りでは、出店の店番や模擬店の手伝いをしてもらった。小学生が、中学生と関わっていて楽しそうだった。最初なので、楽しい活動だと思ってもらい、続けられるように配慮した。
- ④ 保護者からの申込みが多く、自分で申し込んだ生徒が少なかった。負担になるかもしれないが、学校で集めるのもよいと思う。紙面で提出されれば、取りに伺う。
- ⑤ 例年と同じイベントだったが、参加者が少なかった。声をかけなかったからかもしれない。二次元コードで申し込むなら、学校が集約してコミュニティに送るのはどうか。まだ1年目であり、活動が定着していないと思うので、しばらくは学校が仲立ちして参加を促すことが必要だと思う。
- ⑥ 地域から後援会などで支援をいただいている。それに対して、中学生がボランティア活動で貢献するということがよい繋がりだと思う。

## 2 令和7年度の教育活動について

- (1) 授業で、生徒が「何が」「どの程度まで」分かるようになればよいかという目標をしっかりと定めます。生徒が、その目標を教師と共有して、自分に最適と判断した方法や教具を用いて問題を解いたり、課題ができるようになったりするために、教師も教え方や時間、教材などを研究し、複数の多様な足場的支援を用意して、生徒が自己調整しながら理解を深めることができる、分かりやすい授業をします。
- (2) 多くの生徒の家庭学習の時間は確実に改善され、「授業が分かる」と回答した生徒も増えました。この努力が、教師による質・量ともに積極的な形成的評価や総括的評価(学力検査やテストの結果、評価・評定)に反映されるよう、指導と評価の一体化、複数の足場的支援の準備による個別最適な学びと協働的な学び、ICT活用を含む単元指導計画と授業の改善を最優先課題として取り組みます。
- (3) 今年度は、申込にChromebookを使ってもよいという周知をしっかりとしなかったことが反省です。来年度は、ClassroomにURLや二次元コードを掲載して申し込むことも検討します。申込人数や参加状況を把握したときは、生徒会の担当専門委員会から生徒に知らせるようにします。地域の方々からのお声かけが、生徒の参加意欲をととても高めてくださいました。ありがとうございました。

## 3 後援会規程、会費執行

- (1) 南中学校の後援会は、「生徒の教育活動を応援したい」と自主的に考えて組織された。部活動に限らず、校区の住民が応援するという目的に沿うなら、会費の執行を変えるのはよい。後援会の運営などについて、勉強する機会があってもよいと思う。
- (2) 集金の方法はいろいろあるが、地区に生徒がいなくても納めてくださっている方々の気持ちを汲み取り、代表理事や評議員が顔を合わせてもらいたい。大変な思いをしてくださる方達のことを慮り、コミュニケーションをしっかりとって議論してほしい。コミュニティの代表の方などに「このような活動をしている」「〇〇に会費を使っている」というアピールができるとうよいと思う。おたよりを配付して報告を終わりにするのは、十分ではないと思う。時間はかかると思うが、少しずつでもお知らせして理解を広げてほしい。
- (3) これまでの慣例だからという状態で集金するのも、適切ではないと思う。区費から拠出するなど様々な考えがあるだろうが、「子どもたちを応援する」という趣旨を今一度確認して、学校の思いを伝えながら活動する。学校を支援したいという目的は共通理解しているので、後援会の三役会でよく話し合ってもらいたい。

# 学校ホームページ

本校のホームページでは、次のことを御覧いただくことができます。毎日の時間表や下校時刻なども、月予定や学年だよりで確認できます。お気に入りに登録するなどして、御活用ください。

URL : <https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/minami/>

【学校の様子】(新着) : 毎日1つずつ、教育活動や生徒の様子、校舎や校地内のことなどを取り上げお知らせします。

【学年の部屋】 : 1~3年生の学年だよりを、毎週金曜日に掲載します。

【お知らせ】 : 年間行事予定、月ごと予定、学校だより、給食だより、保健だより、各種届出を掲載しております。各種届出は、生徒旅客運賃割引証発行願(学割発行願)、療養解除届、登校許可証明書、給食に関する届、部活動に関する届、オンライン授業に関する届が掲載されております。

